

都市再生整備計画 事後評価シート  
筑前深江駅周辺地区

平成31年3月

福岡県糸島市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	糸島市	地区名	筑前深江駅周辺地区			面積	16.3ha		
交付期間	平成26～30年度	事後評価実施時期	平成31年3月	交付対象事業費	1,144百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(都市計画道路筑前深江駅自由通路線、筑前深江駅前広場整備)								
		提案事業	地域創造支援事業(筑前深江駅駅舎整備事業)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業									
		提案事業	筑前深江駅駅舎整備事業	平成27年度以降は基幹事業(駅前広場整備事業の補償費)として実施			なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	二丈コミュニティプラザ	災害時に車中泊できるような駐車場整備を実施、あわせて既存トイレを洋式化、バリアフリー化し、衛生面での向上を図る			指標「災害時の宿泊可能な収容人員」及び数値目標を追加、29%増を図る。数値目標を追加、従前値2,870人(H27) 目標値3,698人(H29)				
		基幹事業	災害用物資備蓄倉庫	自然災害や原子力災害等が発生した際、必要な災害用物資を常時備蓄することにより、人が集まりやすい、安全安心なまちづくりを図る			なし				
		基幹事業	筑前深江駅前駐車場整備	駅利用者の利便性向上及び路上駐車解消を図るため事業を追加			なし				
		基幹事業	深江校区公民館	図書館、子育て支援センターと同じ建物に移設し、複合化による利便性を向上させ施設の利用率が期待されるため事業を追加			指標「施設の利用者数」及び数値目標を追加、10%増を図る。従前値:21,460人/年(H25) 目標値:23,606人/年(H28)				
		基幹事業									
		基幹事業									
提案事業	筑前深江駅駅舎整備事業	平成26年度実施分(駅舎設計)を提案事業として復活			なし						
交付期間の変更	当初	平成26年～平成30年	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更		-									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	公共交通の利用者数	人/日	1,989	H24	2,100	H30		あり なし	H24年度以降、人口減少・高齢化に伴い乗降客数が減少し、H27年度は1,817人であった。H29年の自由通路供用開始による利便性向上及び人口増により、利用者数は回復傾向にある。H31年2月の駅前広場竣工で、利便性は更に向上したが、目標達成は困難な見通しである。	H32.8月
	指標2	自由通路の利用者数	人/日	0	H24	2,500	H30		あり なし	目標値に無理があり、高齢者などの交通弱者の利用者数に設定するのが適切であった。	H32.8月
	指標3	施設の利用者数	人/年	21,460	H25	23,606	H28	20,453	あり なし	複合施設化による公民館の利便性向上により施設の利用者増を期待していたが、施設機能のPRや実施事業が不足していたため利用者増とならなかった。	H31.4月
指標4	災害時の宿泊可能な収容人数	人	2,870	H27	3,698	H29	3,698	あり なし	計画通り整備が完了し、目標人数の収容が可能となった。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	筑前深江駅周辺整備事業説明会 地元(深江校区振興協議会)との協議			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり体制の構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

## 様式2 - 2 地区の概要

### 筑前深江駅周辺地区(福岡県糸島市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<b>【大目標】</b> 駅前広場やアクセス道路などの都市施設を整備し、JR駅との交通結節点の整備改善により利便性の向上を図り、公共交通と連携した良好な住環境の創出と快適で安全・安心なまちづくりをめざす。 <b>目標1</b> 橋上駅舎、自由通路、駅前広場、アクセス道路の整備などにより駅利用者の利便性を向上する。 <b>目標2</b> 街路景観の向上や施設のバリアフリー化、交通結節機能の強化などによる魅力の向上と、土地の有効利用を図る。 <b>目標3</b> 駅周辺公共施設の一体化や防災機能の向上により、良好で安全・安心な住環境を図る。	公共交通の利用者数	単位:人/日	1,989 H24	2,100 H30	1,830
	自由通路の利用者数	単位:人/日	0 H24	2,500 H30	1,900
	施設の利用者数	単位:人/年	21,460 H25	23,606 H28	20,453
	災害時の宿泊可能な収容人員	単位:人	2,870 H27	3,698 H29	3,698
		単位:		H	H



まちの課題の変化	駅舎を橋上化し、自由通路整備と共にエレベーターを設置したことにより、駅東西の移動が円滑化、階段を使わず駅ホームへの移動が可能となる など高齢者や障がい者の利便性、安全性が向上した。 駅前広場整備により、バス等の2次交通網との連結機能が強化され、駅利用者の利便性が向上した。 駅前の駐車場・駐輪場整備により、駅周辺の放置自転車対策が進み、住環境が向上した。 深江公民館を旧二丈庁舎跡に移転したことにより、耐震基準に適合した施設となった。 深江公民館跡地を公園広場として整備し、あわせて多目的トイレ及び洋式トイレを設置し、災害時に車中泊が可能な駐車場の整備を行ったことにより、防災機能が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	駅前広場を活用した特産品の販売、定期的なイベントの実施など、校区の特性をPRして福岡都市圏から人を呼び込むなどして、地域活性化を図る。 深江公民館については、複合施設であることの強みを活かした事業の展開を拡充する。